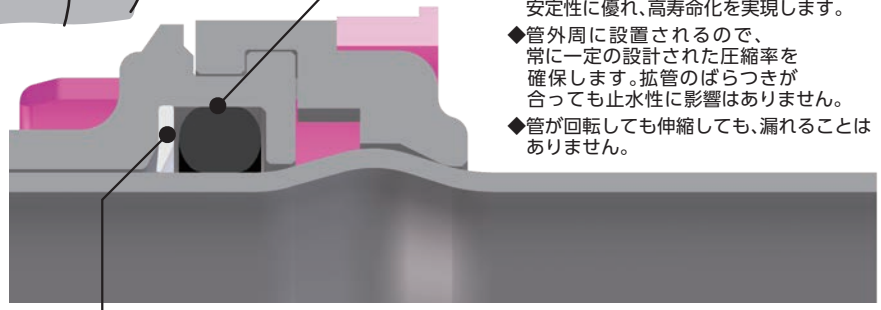
KKベスト®を使用される皆様へ

東尾メック株式会社

漏水トラブル防止のお願い！

KKベストは
Oリングにより止水する
独自構造です

KKベストの Oリングによる止水



●フッ素系Oリング

効果：◆3元系フッ素ゴム使用で、耐熱性、耐化学安定性に優れ、高寿命化を実現します。
◆管外周に設置されるので、常に一定の設計された圧縮率を確保します。拡管のばらつきが合っても止水性に影響はありません。
◆管が回転しても伸縮しても、漏れることはありません。

●プロテクトリング

効果：◆Oリングへの流水接触を抑制します。
◆Oリングの1次側へのはみ出しを防止します。

独自構造により数々のメリットが生まれます

- 高速施工
- 緩み無し
- 施工完了確認が確実
- 地震、曲げにも強い

メリット多数

1 外部からの異物接触と付着防止

管に付着の金属片の他、外部から継手の端部へ侵入する異物の付着も防止ください。

KKベストの継手端には防塵キャップ又は防塵シール、異物がOリングに付着することを防止しています。

しかし、右の写真のように、防塵キャップ又は防塵シールを外し、養生されない場合、切粉や埃、シール材などの異物が侵入して継手内に残留し、漏れにつながる恐れがあります。

防塵キャップやシールは接合する直前まで外さないでください。

防塵キャップ、シールは管の挿入時に外してください。
なお外した防塵キャップは回収BOXに保管ください。

● だから、これだけは気をつけて！

漏水トラブル防止のお願い！

東尾メック株式会社

2 Su管の切断時の切粉は必ず除去してください

メックからのお願い 切断作業後は**必ずステンレス管内の残留切粉を除去してください。**

右の写真のように、**切断口を下にして、トントンと叩く程度でOKです。**

配管内の残留切粉が取れない場合は、ブラシなどで清掃してください。

ステンレス管の切断にはバンドソーを推奨していますが、切断時に**多くの切粉が管内に残留**します。

3 Su管の面取り（内面・外面とも）は必ず実施し、異物は除去してください

メックからのお願い バリの有無に関らず、**Su管の端部の外周、内周に沿って、面取りを実施ください。**

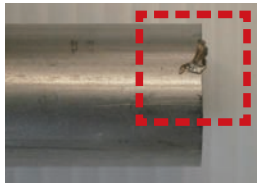
当社ではレッキス工業株式会社の面取り機（SU60P）を推奨しています。

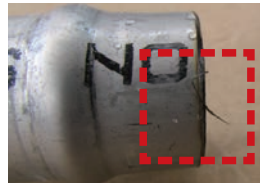
管の継手への差し込み時に、Oリングを傷付ける事の防止で、**この作業を必ず実施してください。**

レッキス工業株式会社
SU60P

管の外面や、内部に異物が残留していない事を確認してください。

バンドソー切断でも、刃物の状態により、管端部にバリ状の金属片が残留します。





このようなバリ状の金属片が付いたまま配管すると、Oリング付近で引っかかって漏れの起きる恐れが有ります。×印写真は漏れ品です。

メリット多数

だから、これだけは気をつけて！